

令和4年度

洞爺湖町当初予算編成の考え方

虻田郡洞爺湖町

はじめに、私は、平成22年4月から3期にわたり、未来につなげるまちづくりを基本理念に掲げ、各産業の振興と3地域の発展を柱に、防災対策、福祉・子育て支援の充実、生活環境の改善、安定した公共サービスの提供など、町民の皆さまが安心と希望をもって暮らすことのできるまちづくりに全力で取り組んでまいりました。

この間、平成30年9月に発生した胆振東部地震、さらに、一昨年から世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症という未曾有の大災害が発生しました。世界的な感染症拡大の影響は、観光地である当町に甚大な被害を及ぼし、その脅威は今もなお継続しています。ワクチン接種を含めた感染予防対策の徹底と生活支援、事業者支援など、地域と経済の活性化が急務となっています。

これまで、町民の皆さま、事業者の方々には、長期にわたり多くのご苦勞やご負担をおかけする中、ご理解とご協力をいただいていることに、改めて感謝申し上げます。

コロナ禍ではございますが、令和3年7月に入江・高砂貝塚を含む北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に認定され、これまでユネスコから認定いただいていた洞爺湖有珠山ジオパークとあわせまして、2つのユネスコの認定を得たことにより、洞爺湖町の地域資源の世界的価値が証明されました。

今後は、コロナ禍で大変厳しい財政運営を強いられることが予測されますが、この2つの財産を基軸として、様々な地域資源の活用による地域経済の再生と交流人口の拡大に努めるとともに、ふるさと納税の拡大による新たな財源の確保や関係人口の拡大による地域の活性化など、町民の皆さま並びに議員各位の深いご理解、ご協力を賜わり、この難局を乗り越え、コロナ収束を見据えた関連施策を重点的に推し進めてまいります。

それでは、令和4年度洞爺湖町一般会計並びに特別会計、企業会計の当初予算、関連する条例改正など、議案のご審議をいただくに当たり、今年度当初の予算編成の考え方について申し上げます。

令和4年度予算は、経常経費を主とした骨格予算としてご審議いただくべきところではございますが、行政の継続性、さらには計画事業の推進などもありますことから、その必要経費につきまして、当初予算に計上させていただいておりますことを、ご理解いただきたいと存じます。

このようなことから、役場本庁舎の長寿命化事業、西いぶり広域連合に対する新中間処理施設建設事業負担金、新型コロナウイルスワクチン接種事業等を当初予算として計上しております。

また、町民の暮らしを守り、安定した行政サービスを確保するため、

医療・福祉、防災・減災などの安心・安全対策や4月からの新年度に合わせた子育て・教育分野への対応、前年度からの継続事業など年度当初から取り組むことが必要な事業は、骨格予算に組み込み計上しております。

この結果、一般会計予算総額は69億7,000万円となり、前年度比5.1%の減額となりました。

また、特別会計・企業会計については、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の医療・福祉関係の予算、下水道事業、水道事業、簡易水道事業の生活に欠かせない予算は、原則、年間の所要見込額を例年どおり計上しております。

一般会計の予算編成状況でございますが、歳入は、町税で固定資産税の前年度減免額を増額、入湯税で新型コロナウイルスの影響による減額等を見込み、地方交付税は国の地方財政計画における一般財源総額の伸び率、前年度交付実績を勘案し増額、寄附金は、ふるさと納税の推進により増額を見込んでおります。

また、後年度の財政負担を軽減するため、繰入金として、みんなの基金（ふるさと納税積立金）、合併地域振興基金、公共施設等整備基金等を活用し、歳入不足については財政調整基金を取り崩して補てんしております。

公債費は合併特例事業債等の償還により増額、積立金は、ふるさと納税、入湯税増税分の積立により増額、人件費は退職手当組合追加負担金や会計年度任用職員の継続雇用等に伴い増額となっておりますが、普通建設事業費等それ以外の経費については、骨格予算により減額となっております。

また、新型コロナウイルス感染症対策として令和3年度国の補正予算により当町に配分された地方創生臨時交付金を活用したコロナ対策予算については、今後の感染状況の推移を見極めながら、ポストコロナ時代に対応した感染症拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら、「感染症の拡大防止」、「町内景気の回復」、「町民生活の安定化」、に寄与する事業に取り組み、町民の命と健康、安定的な暮らしを守り、地域経済の速やかな回復を目指すため適宜補正予算により柔軟に対応してまいります。

令和4年度の予算規模であります、

一	般	会	計	69億7,000万円	前年度比	5.1%減
国民健康保険特別会計	12億9,160万円	前年度比	4.3%減			
公共下水道事業特別会計	6億7,377万円	前年度比	29.1%減			

介護保険特別会計	12億 121万円	前年度比	0.4%増
----------	-----------	------	-------

簡易水道事業特別会計	1億3,974万円	前年度比	7.3%増
------------	-----------	------	-------

後期高齢者医療特別会計	1億7,126万円	前年度比	4.2%減
-------------	-----------	------	-------

水道事業会計

収益的収支	2億5,881万円	前年度比	0.5%増
-------	-----------	------	-------

資本的収支	2億3,773万円	前年度比	10.4%増
-------	-----------	------	--------

として編成いたしました。

以上、令和4年度の当初予算編成の考え方について述べさせていただきました。議員各位をはじめ、町民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、教育行政に係る基本的な考え方や施策については、教育長より、教育行政執行方針として申し上げますが、新たな教育施策の大綱に定める目標や基本方針の実現に向け、教育委員会とも連携してまいります。